

gitの初期設定	
git configglobal user.name "[your nam	コミットトランザクションに付けるyour nameを設定します
git configglobal user.email "[email]"	コミットトランザクションに添付したい電子メールを設定します

リポジトリを作る	
git init "[project name]"	指定されたyour nameを持つ新しいローカルリポジトリを作成する
git clone "[url]"	projectとそのバージョン履歴全体をダウンロードする

一時的に作業ファイルを保存する	
git stash	変更されたすべてのファイルを一時的に保存する
git stash pop	最新の一時保存したファイルを復元する
git stash list	一時保存したすべてのファイル一覧を表示する
git stash drop	最後に一時保存したファイルを削除する

ブランチ操作	
git branch "[branch-name]"	新しいブランチを作成する
git checkout "[branch-name]"	指定されたブランチに切り替えて作業ディレクトリを更新する
git merge "[branch]"	指定されたブランチを結合し、作業ディレクトリを更新します
git branch -d "[branch-name]"	指定されたブランチを削除します。

コミットを作成する	
git status	コミットするすべての新規または変更されたファイルを一覧表示する
git diff	まだステージングされていないファイルの違いを表示する
git add "[file]"	バージョン管理のためにファイルをスナップショットする(ステージにあげる)
git diffstaged	ステージとの差分を表示する
git reset "[file]"	ファイルをアンステージしますが、内容は保存します
git commit -m "[commit message]"	ステージに上がっているファイルをcommit messageとともに記録します

変更をリモートリポジトリと同期する	変更をリモートリポジトリと同期する	
git fetch "[origin]"	リモートリポジトリからすべての履歴を取り込む	
git merge [origin/branch] [branch]	リモートリポジトリのブランチを現在のローカルブランチに結合(マージ)する	
git push [origin/branch]	リモートリポジトリのブランチに反映させる	
git pull	fetch + merge を一気にやってくれる	

やり直し	
git reset "[commit id]"	[commit]の後にすべてのコミットを元に戻し、ローカルに変更を保存します
git resethard "[commit id]"	すべての履歴と変更を破棄します

gitの履歴	の履歴	
git log	現在のgitの履歴を一覧表示する	
git logfollow "[file]"	ファイルのバージョン履歴をリネームも含めて表示する	
git diff [branch1] [branch2]	2つのブランチ間の差分を表示します	
git show "[commit id]"	指定されたコミットのメタデータとコンテンツの変更を出力します。	

ファイルのリファクタリング	
git rm "[file]"	作業ディレクトリからファイルを削除し、削除をステージングします
git rmcached "[file]"	バージョン管理からファイルを削除しますが、ファイルをローカルに保存します
git mv [org_file] [rename_file]	ファイル名変更し、renameをステージングします。